

麦



埼玉親の会「麦」発行
2024年10月25日 161号
E-mail: mugi.saitama89@gmail.com
ホームページ: <https://ld-mugi.sakura.ne.jp/>

全体活動

6月例会 発達障害の事例勉強会 テーマ 片付けることが苦手な人



6/29 (土) 10:30~12:00 浦和コミュニティセンターIT 研修室

参加者 会員7名、非会員3名、計10名

最初に進行役から配布資料にある発達障害の定義や基本的な対応について、説明がありました。発達障害のある人には、本人に理解できるように、周囲が「伝え方」の配慮をすることが大切です。

次に「片付けることが苦手」な人の事例について具体的な説明があり、それをふまえて参加者がそれぞれの立場でどのように支援していくかを考えました。

事例1 本人が小学校低学年の場合

事例2 本人が社会人(20代)の場合

事例1・2 共通

- ① あなたの立場(保護者または支援者)なら、本人にどんな支援をしたいと思いますか?
- ② あなたが保護者なら、学校や周囲に対して、何をしてほしいですか?
あなたが支援者なら、保護者に対して、本人や周囲に何をすれば良いと助言しますか?

保護者は保護者目線で、支援者は支援者目線で、対応策をポストイットにあげていきました。写真のようにたくさんの意見が出されて参加者の皆さんと議論をしました。

最後に、進行役から片付けることが苦手な発達障害者本人が実際に行っている工夫が紹介されました。事例勉強会、とても参考になりました。(A・Y)



全体活動

7月全体おしゃべり会



7/29 (月) 10:30~12:00 さいたま市生涯学習総合センター9階学習室1

出席 教育G1名、就労G5名 非会員2名 合計8名

大宮でのおしゃべり会に初めて参加いたしました。私は、お子さんが大学生の方を含む20歳前後のグループでお話することが出来ました。大学生の悩みや就活での保護者の関わり方などについて共有致しました。就職してもまだ心配事は続いていくことになることと想像し、疲れやすい特性、不安やストレスをため込んでしまわないかなど、気に掛けてフォローしていく必要があると感じています。就労移行支援についても利用方法やその特徴なども話題となりました。おしゃべり会は、体験による貴重な情報交換であったり悩みを話せて前向きになれたりホッとすると感じています。(I・Y)。

全体活動



9月全体おしゃべり会

9/26 (木) 10:30~12:00

さいたま市生涯学習総合センター 9F 学習室1

出席 会員5名、非会員5名 合計 10名

9月例会は大宮でのおしゃべり会の開催となりました。お試し参加の非会員は学齢期のお子さんがいる方たちばかりだったので、小学校低学年と小学校高学年以上の2つのグループに分かれました。それぞれのグループでは、お子さんの年齢が近いこともあり共通の話題が多く、低年齢では落ち着きがないことなどの問題、高年齢では字を書くことが苦手などのLDの問題が多く話されました。同じようなことで困っている人がいると知ると共感できますし、他の家庭ではどのような取り組みをしているかなどは興味深く、また参考にもなるので、とても良い機会だったと思います。いつまでも話題が尽きず、つい時間を超過してしまい、もっと時間があつたらと、今更ながら思いました。(M・M)



全体活動

進路例会 発達障害のある子の進路

8/25 (日) 10:30~12:00 浦和コミュニティセンターIT 研修室

出席 教育G4名、就労G4名(内経験談者3名) 非会員6名 合計 14名

今回は3人の方のお子様の進路状況を聞くことが出来ました。いつ頃障害の診断をされ、中学、高校、そして卒業後どのような進路をたどったのか、細かく聞くことが出来ました。

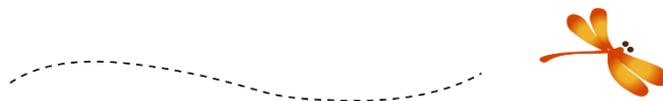
大事なことはその都度子供に合う環境が見つけられるように、早いうちから情報収集を行い、様々な選択肢を知ることです。そして、それぞれ違う個性があり特性があるため、子供と一緒に見学に行つて、本人が行きたいと思う学校を選ぶべきです。得意分野を伸ばせるかどうか、ゆとりがあるかどうかも大切です。

そしてこの学齢期の間に、ある程度の就職先を思い描いておくことが必要など教えていただきました。

子供が成長してくると、好きなこと、得意なことがはっきりしてきます。それを伸ばせる方向に向かうことで、それがどのような道であっても、それが本人が感じる幸せな道なんだろうなと思いました。(M・N)



(注) 個人が特定できないように加工修正をしています。



全体活動

自立訓練（生活訓練）事業所 ココルポートカレッジ 見学

7/29（月）13:30～14:30 出席 就労G4名

自立訓練事業所であるココルポートカレッジを見学させていただきました。今回は大宮駅西口にあるキャンパスに伺いました。就労移行支援事業所との違いが分かりにくいですが、就労移行支援の前の段階で、生活面や対人スキル面での課題を解決することでより安定した就労につなげようと、就労移行支援事業所を母体として始められたとのことでした。自立訓練事業所からそのまま就労や進学などの進路に向かう場合もあれば、就労移行支援事業所に進み、それぞれの事業所で2年ずつ、最長4年の訓練を受けることも可能で、就労後も定着支援を受けられるとのことでした。プログラム内容は生活リズムを整えることから、コミュニケーションの訓練、就労準備などいろいろでした。就職活動がうまくいかない場合、このような事業所を利用して就労につなげるのは、良いことだと思います。（M・M）



発送活動

6/29（土）13:00～ さいたま市市民活動サポートセンター

事例検討会の後に機関紙の印刷と発送の作業を行いました。郵送先が少なく、時間もあまりかからずに終わりました。（M・M）



NPO法人全国LD親の会



全国LD親の会 第17回総会

6/15（土）13:30～15:00 会場：札幌市「かでの2.7」510会議室 オンライン：Zoom
所属会35：総会出席34（うち議決権行使書2、委任状1）欠席1

「麦」が所属するNPO法人全国LD親の会の第17回総会が札幌市で開催され、「麦」からは会長Yが全国LD親の会の監事として、理事Mが「麦」議決権行使者としてオンラインで参加しました。2023年度の事業報告や決算報告と監査報告、2024年度の事業計画や予算などの議案が特に問題も無く承認されました。（M・M）



NPO法人全国LD親の会

全国LD親の会 研修会「災害への備え」

6/15（土）15:30～17:30 札幌市「かでの2.7」会場+オンライン開催
会場参加20名・オンライン参加42名

全国LD親の会総会終了後、休憩をはさみ「災害への備え」をテーマとする研修会が行われました。研修会内容を簡単にご報告いたします。

- ・1月に発生した能登半島地震について報告（東海・北陸ブロックから）
- ・レクチャー「緊急時に備える！ICTを有効に活用するために」

講師：臼井晶子氏（アップカルチャースクール スクールマネージャー）

- ・意見交換会「災害への備えについて話し合おう」 参加者が小グループに分かれて意見交換

元日に大地震が発生した能登地方が、9月の記録的な豪雨により、またも甚大な被害に見舞われました。「麦」では、石川県発達障害児・者親の会「パル」に地震災害のお見舞い金を送金いたしましたが、能登地方の重なる災害被害に心が痛みます。研修会では、防災アプリや避難所ガイド等のデジタル活用、デジタル活用のためのアナログな準備を教えてくださいました。災害に備えて、発達障害の子を持つ親の立場で普段から何をすべきか、考えさせられました。（H・Y）

NPO法人全国LD親の会第23回公開フォーラム



「成年期以降の課題 生涯にわたっての支援をつなぐ」

6/16(日) 9:40~15:40 札幌市「かでる2.7」大会議室 会場+オンライン開催
ハイブリッド開催、基調講演と話題提供は事前録画分を後日アーカイブ配信

麦からはオンラインにて私を含めて出席4名でした。プログラムと内容を簡単にご紹介いたします。

基調講演「成年期以降をどう生きるか、そして見守り支えるか」～本人と家族の思いを考える～

講師 ころとそだちのクリニック むすびめ 田中康雄氏

親亡き後の親の心配は、経済的自立と生活的自立への手助けだが、本人にとって必要な自立は精神的自立(将来の目標を自分で決める、自分はこう生きたいと願い実践する)の確立。自立とは、他の援助を受けずに自分の力で身を立てることではなく、適度に依存すること。そして、生活における三大要素である、働く・暮らす・遊ぶの「遊ぶ」も大切に。最後の締め言葉、『自立とは、「依存しなくなること」だと思われがちです。でも、そうではありません。「依存できる先を増やしていくこと」こそが、自立なのです。』が印象に残りました。

行政説明「発達障害施策の最近の動向」

講師 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 地域生活・発達障害者支援室 発達障害対策専門官 西尾 大輔氏

厚生労働省の発達障害者の支援対策の最近の動向の説明がありました。

1. 発達障害の定義などについて 2. 発達障害者支援法について 3. 発達障害者の支援について 4. 発達障害者の支援の調査・研究について 5. 発達障害についての普及啓発 の5つの項目について詳しい解説がありました。これからの発達障害者の就労支援が充実していくことを望みます。

話題提供①「地域生活を支えるために」

講師 札幌学院大学 山本 彩氏

20年間、相談支援に携わってきた立場から大人期の相談支援の例・子ども期の相談支援の例を交えてお話がありました。成年期以降地域生活において支え合うためには、「ご本人が人を嫌いにならないこと」「地域に色々なネットワークが存在すること」「支援者が長くその地域に存在し続け、体制整備の要になること」が大切です。自分自身で、皆で共に、いろいろと学んだり、試したりしてみましょう。

話題提供②「2010年からのチャレンジ、発達障害を持つ子ども達の幸せへの道すじ」

講師 NPO法人北海道学習障害児・者親の会クローバー

親の会の立場から、親亡き後に不安なことをアンケート調査し、その結果の報告がありました。全国どこにいても一人で生活できるのか?と親は不安に思っていますが、本人は、今は無理だが将来は可能との回答が多いです。でも、その裏には「適切な支援があれば・・・」「本人にあった施設があれば・・・」「練習を繰り返せば・・・」「本人が自立の意識を持てば・・・」が隠されています。親も本人も適切な支援、支援者がいたら、自立できるのではないかと実感しました。

話題提供③「親の会で見てきた成年期支援の課題を考える～「つなぐ」「つなげる」ことの難しさと大切さ～

講師 特定非営利活動法人ぷりずむ 赤塚 美枝氏

学校卒業後に支援を得ようとしても、「親の負担が大きい」「支援が途切れる」「制度がわかりにくい」等、支援につなげることは難しい。支援につなげていくには、居場所も必要だけど、人と人とがつながりながら制度もつなげていく必要がある。そうすれば本人も自分に必要なサービスがなにか見えてくるのかなと、つい赤塚氏の言葉にうなずいていました。その通りだなと感じました。

パネルディスカッション

Zoomでのオンライン参加では、会場内の質問がマイクを通して聞き取れず、残念でした。学校卒業後の支援についての悩みは全国共通で、どこに相談したら良いかわからない、支援が途切れる、など困り感は同じでした。行政の方も質問に答えていましたが、国でよりよい支援ができるよう発達障害の制度を変えていくことが重要だと感じました。(A・Y)

全国 LD 親の会 関東・東北ブロック会議



7/7 (日) 14:00~16:30 Zoom

参加者 関東・東北ブロック所属会 11 団体、全国 LD 親の会理事長・副理事長 27 名

全国 LD 親の会は、地域を 5 つのブロックに分けて活動しており、「麦」が所属する関東・東北ブロックでは年 2 回ブロック会議を行っています。当日は「麦」から理事 2 名（会長と会計）が参加いたしました。簡単にご報告いたします。

- ・全国 LD 親の会からの報告
組織運営・研究事業・理解啓発事業・本人および家族支援事業・支援制度に対する活動事業など
- ・ブロック評議員の交替について
- ・各会（11 団体）からの活動報告（2024 年 1 月～6 月）

全国 LD 親の会では、行政勉強会や音声教材学習会、青年の集いなど、会員対象に学びの場や交流の場を提供しています。各種案内は、会員連絡網でお知らせしているので、関心のある会員は是非ご参加ください。（H・Y）

保護者向け「音声教材学習会」



7/14 (日) 10:00~11:30 Zoom 講師：風早史子氏（東京大学先端科学技術研究センター）

私は現在中学生の息子を持つ母親です。息子は現在まで公立通常学級に通っており、小学校低学年より読み書き困難な傾向が見られ 勉強に苦手意識を感じたまま現在に至ります。小学校高学年以降は残念ながら学習意欲の低下も見られます。

その様な状況ではありますが、幸か不幸か現在に至るまで学校側から指摘された事は無く、病院の受診歴もありません。保護者として少しでもサポート出来る事は無いが、学習する上で前向きに取り組めるツールについての知識を増やしたいと思い、今回の学習会に参加致しました。

現在は法制度も整い、多様な特徴を持つ子供達一人一人に合った合理的配慮が可能な時代になりつつあります。

音声教材に於いては現在 6 団体が無償で様々な教材を提供して下さり、ICT 教育が浸透する中ツールとしては本当に素晴らしい内容でした。タブレットで簡単にダウンロードが出来て、殆どの教科書が網羅されており、それぞれに特徴があります。

合成音声の声質や早さ、明るさ等の選択も可能であり、好みや障害の特徴に寄って選択出来ると知った事は、保護者として大変喜ばしい事となりました。法制度と共に、こんなにもハード面が整っている事に正直なところ驚いた次第です。

一方で、通常学級に於いては先生方を含めて発達性ディスレクシアの浸透度はまだまだ低いのではないかと感じています。学校側から保護者に子供の特徴を伝える事はある意味良からぬ事との認識がまだあるのかもしれませんが、学校という組織の中で担任の先生個人の意見だけで判断する事の難しさもあるのかもしれませんが、集団生活の中で様々な子供達と間近で接する先生の直感や経験をもっと保護者に共有化して欲しいと思うのは、私だけでしょうか。

ICT 教育や法制度の改正、様々な音声教材等のツールを効果的に活用し、必要な人に対して 早急にアプローチ出来る仕組みが整えられる事を切に願っております。具体的には小学校や中学校入学時の節目節目での集団アセスメントや、学習支援員の学校への配置等、早急な体制作りを強く願わずにはられません。私自身はまだまだ子育て道半ばではありますが、自分自身も息子と共に学習し、成長していきたいと思っております。

この度は音声教育に関する素晴らしい学習機会を頂きまして、誠に有難うございました。（E・K）

音声教材学習会

音声教材 BEAM と BEAM 音声を活用したテストの合理的配慮

9/22 (日) 10:00~11:30 Zoom 講師：藤堂栄子氏ほか(認定 NPO 法人 EDGE)

9/22 (日)、NPO 法人全国 LD 親の会主催の「音声教材 BEAM と BEAM 音声を活用したテストの合理的配慮」の勉強会に参加させて頂きました。

音声教材については他にも幾つか種類があり各々に特徴がありますが、BEAM の良い所は学校や医療機関を通さず、診断が無くても個人で申請出来る事や非常に自然で聞き易い音声である事、又手軽で携帯性が高い為、学校で使用するだけでは無く自宅や通学時間でも使用出来る事です。

今月 10 月はディスクシア月間でもあり、BEAM を始めとした音声教材が、様々な媒体を通して広く認知されると良いと思います。

音声教材を通して読み書きに困難のある子供達が自分に合った学習方法に出会い、「学ぶ事」に対する前向きな気持ちが持てる事を保護者として願っております。(E・K)



行政勉強会

「R6 年度障害福祉サービス等報酬改定による放課後等デイサービスの変化」

7/28 (日) 10:00~12:00 Zoom 出席：理事 2 名

講師 日詰正文氏 (JDDnet 事務局長 言語聴覚士)

全国 LD 親の会による行政勉強会にオンライン参加しました。テーマは R6 年度障害福祉サービス等報酬改定による放課後等デイサービスの変化で、利用時間の区分が細くなることでデイサービスを運営する事業所の収入が減る影響や、療育の区分からは離れている内容(塾やお稽古事に近いもの)を行っている事業所の見直しなどについてでした。事業所側にとっては影響や問題がいろいろと生じる可能性があることは分かりましたが、デイサービスを利用する児童生徒にとっては直接関係ある内容ではありませんでした。それでも、事業所の運営状況が厳しくなることは、良心的な事業所が閉鎖される可能性も出てくるなど、利用者側にも困ることがあるかもしれず、問題点もあることを感じました。(M・M)



行政勉強会「不登校に対する取り組み」

9/17 (火) 10:00~12:00 Zoom、9/29 (日) 20:00~22:00 録画配信

講師：笹森洋樹氏(常葉大学教育学部初等教育課程教授)

全国 LD 親の会では、会員向けに行政勉強会を開催していて「麦」会員も参加できます。今回は平日開催であったため、録画配信も行っていました。

本人の不登校に至るまでとその後の気持ち、その子に現れる様々な変化、保護者の思い、そして子を支える周囲の対応などを文部科学省のデータと併せてお話しいただきました。また、現在文部科学省が推進する「COLOPLAN」という、不登校の児童生徒の学びの場の一つとして全国に「学びの多様化学校」を作る等の計画をご説明いただきました。「麦」の活動の中でも、発達障害のあるお子さんの保護者から、不登校のお悩みを伺うことが多く、とても参考になりました。その子に合った学び方が見つけられるよう、学びの場が増えていくこと、支援者や理解者が増えていくことを願います。

この度は貴重なお話をありがとうございました。企画いただいた全国 LD 親の会の皆様、ありがとうございました。(M・K)

オンライン各会役員交流会

8/24 (土) 13:30~15:30 Zoom

「麦」が所属する全国 LD 親の会では、偶数月に各地親の会の役員同士が Zoom で交流できる場を設けています。各会の希望する役員が自由に参加して、情報交換したり活動や運営について話し合います。今回の参加者は全部で 33 名でした。

テーマは『サステナブルな親の会の活動』で、例えば「役員の世代交代」「役員の敷居を下げるには」等でした。前半は参加者が小グループに分かれて、所属する会の実情や問題点などを出し合い、後半は全体会で、グループごとの内容を発表しました。「若い役員とのギャップを感じてもやっていただけるように」「地域の情報を伝え親の会の良さを強調」「役員であるメリットをアピール」「仕事を小分けにする」等の意見が出ました。また、「会員数が多いうちに次世代へ交代の仕組みをつくる」「Zoom だけでなくいろいろな SNS を活用する」「自分の子どもの悩みを話す会という目的から、社会的役割のある会という認識の転換する」なども大切、というお話もありました。

ご参加の皆様、「麦」においても参考になるお話を、ありがとうございました。また、このような場を設けてくださった全国 LD 親の会役員の皆様、ありがとうございました。(M・K)



役員活動報告 (さいたま市)

令和 6 年度 第 1 回さいたま市障害者政策委員会

7/16 (火) ときわ会館+Zoom

さいたま市障害者政策委員会は、障害者に関する施策の総合的かつ計画的な推進についての必要な事項の調査審議等を行うために設置されています。今年度の第 1 回目も zoom での参加が可能だったので、私は zoom で参加しました。

議題

- ① 障害者総合支援計画の実施状況について
- ② 災害・防災について
- ③ 誰もが共に暮らすための市民会議の報告について
- ④ その他

① 障害者総合支援計画の達成事業については、コロナの影響もありますが、各区避難所運営訓練に参加する方が目標値に届かなかったという話が出ました。参加者を増やすために防災訓練について説明会を開催したり、訓練の参加を障害者団体に呼びかけて行くという事でした。

また、グループホームについて運営が不適切なグループホームもあるので、市内の事業所を訪問して現状把握を行うとともに、利用者や家族を対象にした相談窓口を設置したということです。

② 災害、防災については、災害が起きた時に、近所同士で助け合える、人とのつながりも大切という話が出ました。また、個別支援計画と同じように、報酬をつけて、個別避難計画を作るのが良いのではないかという意見もありました。

③ 市民会議も防災についての話題が中心だったようです。

さいたま市は内陸の平野部のため、津波や土砂崩れの心配はないと思いますが、災害はいつ自分のところにやってくるかわかりません。各家庭でも災害に備えるのも大切と思いました。

④ その他については、障害者(児)や要介護高齢者のための口腔保健センターが新しく設置されるそうです。歯は大事なので、とても喜ばしいことですね。

今回も、いろいろな障害者団体の意見を聞くことができ、とても勉強になりました。(C・N)

役員活動報告（さいたま市）

さいたま市誰もが共に暮らすための市民会議

令和5年度 第3回 3/5（火）14:00～ さいたま市生涯学習総合センター多目的ホール

令和6年度 第1回 6/24（月）19:00～ 浦和コミュニティセンター多目的ホール

さいたま市では、誰もが共に暮らせる地域社会を目指し、市民が話し合い、意見交換する標記会議を年3回開催しています。発達障害に特化した会議でなく、様々な障害関係者が多数参加し、小グループに分かれて討議しています。私は、3月は発達障害団体の立場で、6月はファシリテーター（小グループ進行役）として標記会議に参加いたしました。当日の内容は、下記の通りです。

3月 さいたま市障害者総合支援計画策定の報告、グループ討議「合理的配慮の推進について」

6月 グループ討議「令和5年度障害者総合支援計画の達成状況について」「災害時の合理的配慮」

いずれも、最後に各グループのファシリテーターから討議内容が発表されますので、参加者は自分のグループだけでなく、他のグループも含め多様な意見を聴くことができます。自分の目線だけでなく、多角的な視点から、問題を捉えなければ、障害者施策は推進しません。

標記会議は、さいたま市在住・在勤・在学者は参加できます。関心のある会員は、さいたま市障害政策課ノーマライゼーション推進係までお問い合わせください。（H・Y）



役員活動報告（さいたま市）

令和6年度さいたま市ひきこもり対策連絡協議会 ワーキンググループ（児童・思春期支援部会）

7/30（火）10:00～12:00 さいたま市子ども家庭総合センター多目的室

さいたま市ひきこもり対策連絡協議会は、ひきこもりに関する意見や情報交換、ひきこもり対策事業の連絡調整などが行われています。委員は、ひきこもり支援機関・フリースペース・就労支援機関・教育関係機関・家族会等です。発達障害のある人には、ひきこもりになるケースが見受けられることから、「麦」は本協議会に委員として参画しています。本協議会の下部組織として、児童・思春期支援部会及び成人期支援部会が設置され、委員がそれぞれの支援部会に所属しており、「麦」は児童・思春期支援部会です。

7/30に行われた児童・思春期支援部会の内容は下記の通りです。

- ・各委員の事業報告
- ・Growth（さいたま市不登校等児童生徒支援センター）の事業報告
- ・令和5年度ひきこもり相談センター事業報告
- ・ひきこもり支援に関する社会資源の整理
- ・市町村プラットフォーム（市町村ひきこもり支援ネットワーク）の設置・運営について
- ・支援者研修について

ひきこもりの背景に発達障害がある場合は、一般的なひきこもり支援に加え、発達障害への支援が不可欠です。不登校やひきこもりになる理由は様々ですが、個に応じた適切な支援が提供されることを望みます。（H・Y）



役員活動報告（さいたま市）

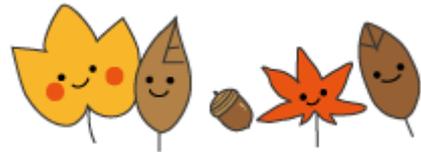
令和6年度第1回さいたま市発達障害者支援地域協議会

8/29（木） 15:00～17:00 Zoom

さいたま市発達障害者支援地域協議会では、発達障害の関係者等が相互の連絡を図ることにより、さいたま市における発達障害者の支援体制に関する課題について情報を共有しています。連携の緊密化を図るとともに、さいたま市の実情に応じた体制の整備について協議しており、「麦」も家族会の立場で委員を委嘱されています。

まず、さいたま市発達障害者支援センターから令和5年度の周知啓発活動の報告①②がありました。①かかりつけ医等発達障害対応力向上研修は埼玉県と共催で例年どおり、様々な診療科の医師を対象に、オンライン研修を実施。②一般市民向けの講演会（機関紙6月号で報告）を開催。今回初めてオンラインを使ってサテライト会場を設けたり、オンデマンド配信をするなどしました。委員から、今後さらにそれらの取り組みを拡げてほしいという希望が出されました。

次は、「状態が悪化した強度行動障害を有する児者への集中的支援について」（国の方針による）です。対象の児者へ訪問支援や施設支援を集中的（3か月以内）に行う場合に国の補助金が加算されるとのことですが、知識と経験を兼ね備えた支援者の養成（人材不足）が大きな課題のようです。さらに、「生後1か月と5歳児の健診を新たに行う」ことも検討されています（国の方針による）。5歳児健診では、発達に心配のある子へ就学前に療育を開始することを目的にしているようです。（M・K）



役員活動報告（さいたま市）

さいたま市発達障害者支援連絡協議会

第1回 8/1（木） 15:00～17:00、第2回 10/4（金） 15:00～17:00

会場：さいたま市障害者総合支援センター

さいたま市発達障害者支援センターは、発達障害者への福祉の進展のため、発達障害者支援に携わる様々な機関からの委員による標題協議会を設けており、「麦」も家族会として参画しています。

第1回では、主に今年度の活動内容を検討しました。委員皆さんのお話から、事例検討をする中で、様々な課題を見つけ、それぞれの支援機関の連携についても考えられたら良い、と思っている方が多いと分かりました。また、Q-SACCS（発達障害の地域支援システムの簡易構造評価）の説明がありました。これは、発達障害者支援にかかわる様々な支援者（支援機関）が各ライフステージにおいてどのような役割をもち、次のステージへどう引き継いでいるかを「見える化」するものです。その作成にも取り組んでみましょう、という意見もありました。

第2回では、まず、模擬事例が提示され、事例の発達障害者のこれまでの経緯から課題を見つけ、本人と家族そして支援者（学校含む）は、それぞれの立場で何ができただろうか、・・・などを出し合いました。様々な視点があり勉強になりました。次に、Q-SACCSの作成方法の動画を視聴して、第3回までの間にそれぞれの支援機関が作成することになりました。（M・K）



役員活動報告（埼玉県）

「不登校の子供を支えるためのセミナー」個別相談会

7/28（日）13：30～15：30 ソニックシティビル 4 階会議室

埼玉県教育局が不登校の子供たちや保護者を支援する標題事業が毎年開催されています。講演会などが午前中にあり、午後は、民間の各種高等学校や不登校の本人や保護者を支援する団体などがそれぞれのブースを設け、個別相談が行われました。「麦」は発達障害の保護者の会として初めて参加し、会長と理事1名がお話を伺いました。開始時間になると次つぎと「麦」ブースに来られる方がいて、高校受験の悩みや、現在在籍する学校での悩みなど、一組15分程度で8組ほどとお話をしました。

「麦」会長作成の資料「発達障害と不登校」と、当会のリーフレットや開催予定の例会チラシを各50部ほど会場の資料コーナーへ持参しましたが、全て持ち帰られたようで、関心の高さを感じました。

埼玉県の御担当の皆様には大変お世話になりました。今後もこのような催しを継続していただけるよう、お願いいたします。（M・K）



役員活動報告（埼玉県）

埼玉県立総合教育センター主催 令和6年度 特別支援学校5年経験者研修 「保護者の心情に配慮した支援の在り方」

7/31（水）13:00～ Zoom

埼玉県立総合教育センター主催の令和6年度特別支援学校5年経験者研修がオンラインで開催され、「麦」会長が「保護者の心情に配慮した支援の在り方」をテーマに講演させていただきました。対象者は、埼玉県公立特別支援学校の教職経験5年目の教師で、発達障害と限定せず、障害全般を対象にして、「障害児の子育て」「保護者の心情理解（障害受容）」「相談ポイント」「関係者の連携」「学校側に求めたい配慮」等をお話いたしました。先生方には「ひいき」に関するワークを通じて、正論で言い含めるのではなく、保護者の心情に配慮した対策を考えていただきました。どんなに優秀な教師でも、どんなに立派な保護者でも、立場や視点が異なれば、トラブルは生じます。対立よりも歩み寄って話し合い、互いが納得できる対策を講じてほしいものです。

センターの皆様、研修に参加された皆様、当日はお世話になりました。このような機会を頂けたことに、感謝申し上げます。

参加された皆様がそれぞれの現場でご活躍されますことを、心からお祈りしております。（H・Y）



その他の活動

埼玉県議会公明党議員団との意見交換会

9/19（木）10:30～10:50 埼玉県議会議事堂 5F 会議室

「麦」から理事が3名出席いたしました。公明党議員団は4名出席でした。「麦」では、会則で定めている通り、政治や宗教活動に関わりませんが、議会に対して発達障害の支援要請活動を行うことがございます。埼玉県公明党議員団は、毎年様々な障害団体を招き、県政への要望などを個別に意見交換する場を設けています。

「麦」は、県内で活動する障害団体として、毎年意見交換会に招かれています。今年度の意見交換会は、「麦」から埼玉県公明党議員団長宛に要望書を提出し、発達障害の課題を説明したところ、議員団の皆様は熱心に耳を傾けて下さいました。公明党に限らず、発達障害の理解啓発のため、支援の輪を広げたいと思っています。埼玉県議会公明党議員団の皆様、意見交換会の場を設けていただきありがとうございました。（H・Y）

令和 7 年度発達障害関係予算要望事項の作成

「麦」では、毎年埼玉県とさいたま市宛に発達障害の予算要望書を提出しています。今年度も要望書を作成するために、会員連絡網やおしゃべり会で会員から発達障害に関する要望を伺いました。理事達による Zoom 要望書検討会（5/29・6/10・7/3）と6月発送後の会場、7月 Zoom 理事会、理事メール等で相談して、埼玉県とさいたま市の要望書を作成いたしました。さいたま市には、要望書を提出する際、担当部局へ要望内容を詳しく説明する時間を設けています。回答はさいたま市ホームページへ年度内掲載され、文書で頂きます。埼玉県の場合は、要望書回答を頂く際に、担当部局と話し合いできる場合があります。ただ要望項目全てを話し合うことは難しいので、重点ポイントを選び話し合っています。重点ポイントは話し合い当日に口頭で、その他の要望は別途文書で回答を頂きます。

因みに、令和6年に提出しても、翌年の行政予算に反映させる目的なので、タイトルは令和7年度発達障害関係予算要望となります。発達障害の施策に意見がある会員は、遠慮せずに理事までご連絡ください。今後とも会員皆様にはご協力の程よろしく願いいたします。（H・Y）



埼玉県 令和 6 年度発達障害関係予算要望事項提出及び回答

毎年要望書を提出しているのので、今年度も年度初めに、埼玉県福祉部障害者福祉推進課長から9/2（月）に「県との話し合い」の通知をいただきました。要望書は、簡潔で明確な文章で伝えなければなりません。Zoom で要望書検討会を開いたり、メールで何度もやり取りして要望書を仕上げ、7/22（月）に提出いたしました。

9/2（月）の県との話し合いには、会長と理事3名の計4名が出席いたしました。要望書の回答を聞いて疑問に思ったところを質問したり、こちらの意図がうまく伝わるように事例を挙げ具体的に説明することができました。私は何度目かの口頭回答の出席ですが、文章ではうまく伝わらないことが、口で説明することによって、うまく伝えることができると改めて思いました。要望書の作成は大変な作業ですが、やはり要望書の提出は大切です。私たちの要望が県政に活かされる機会です。会員皆様も、要望書作成時期でなくても、気づいた要望があれば、積極的に理事に知らせていただければと思います。

当日話し合いの場にご出席いただいた担当部署の皆様、文書回答いただいた担当部署の皆様、担当部署に回答を手配いただいた障害者福祉推進課総務・企画・団体担当の皆様、お時間をいただきありがとうございました。今後も発達障害のある人に、お力添えの程よろしく願いいたします。（C・N）

さいたま市令和 7 年度発達障害関係予算要望事項提出及び回答

7/25（木）さいたま市長あてに令和7年度予算要望事項の提出と補足説明のため、障害政策課ノーマライゼーション推進係と教育委員会特別支援教育室へ理事3名が訪問しました。全ての要望の説明をしましたが、ノーマライゼーション推進係では、「思春期以降成人期の本人やその家族への支援の拡充」「医療体制の整備」「療育の拡充」「発達障害のある不登校やひきこもりの児者への特性に応じた支援」「本人の意思を尊重した就労支援」「職場定着支援の強化」等を、また特別支援教育室では「ICT等新しい技法を活用した教育支援」「全教職員と保護者へのさらなる理解啓発」等を、強く求めました。

お忙しいところ担当部署の皆様には熱心に耳を傾けていただき、誠にありがとうございました。

なお、10/15（金）に本要望事項の回答をさいたま市から頂きました。さいたま市関係部署の皆様にご挨拶申し上げます。ご不明な点やその他お問合せは、理事へお願いします。（M・K）

令和7年度発達障害関係予算要望事項に関する回答は下記に掲載しています

埼玉県 ☞ <https://ld-mugi.sakura.ne.jp/youbousyo.kaitou2024pref.saitama.pdf>

さいたま市 ☞ <https://ld-mugi.sakura.ne.jp/youbousyo.kaitou2024city.saitama.pdf>

「麦」活動報告（機関紙 2024 年 6 月 160 号報告以降）

<会全体の活動> 会員参加行事

- 全体例会（学習や会員同士の交流の場の提供）
 - 6/29（土） 事例勉強会 「片づけることが苦手な人」 一般参加可（非会員有料） 会場開催
 - 7/29（月） おしゃべり会 入会希望者お試し参加可 会場開催
 - 7/29（月） 施設見学会「コッポータカレッジ」会員限定 会場開催
 - 8/25（日） 進路例会「発達障害のある子の進路」一般参加可（非会員有料） 会場開催
(8/21 配布資料事前印刷)
 - 9/26（木） おしゃべり会 入会希望者お試し参加可 会場開催

<理事活動>

- 理事会（活動報告、計画、相談、情報交換等） 全て Zoom
 - 6/19（水）、7/19（金）、8/9（金）、9/20（金） 全体例会、LINE 活用、経費相談など
- 機関紙発行および各種発送に関する活動
 - 6/29（土） 機関紙 160 号発行、WEB 掲載 機関紙及び配布チラシ等印刷、関係先に発送
- ホームページの更新
 - 6/30（日）、7/29（月）、8/31（土）、9/15（日）
- 要望書提出に関する活動
 - 5/29（水） 6/10（月） 7/3（水） 要望書検討会（Zoom） 6/29 発送作業後と 7/19 理事会で相談
 - 7/22（月） 埼玉県要望書提出メール送付 →9/13（金） 文書回答
 - 7/25（木） さいたま市要望書を持参提出 担当部局へ要望内容説明 →10/15（火） 文書回答
 - 9/2（月） 埼玉県要望書口頭回答 担当部局と口頭回答に対する質疑
 - 9/19（木） 埼玉県議会公明党議員団 要望書提出と意見交換会
- 行政関連の行事
 - 6/24（月） 令和 6 年度第 1 回さいたま市誰もが共に暮らすための市民会議（会場開催）
 - 7/16（火） 令和 6 年度第 1 回さいたま市障害者政策委員会
 - 7/28（日） 埼玉県教育委員会主催「不登校の子供を支えるセミナー」個別相談会（会場開催）
 - 7/30（火） 令和 6 年度さいたま市ひきこもり対策連絡協議会 児童・思春期支援部会（会場開催）
 - 7/31（水） 埼玉県立総合教育センター主催 令和 6 年度特別支援教育 5 年次研修講師派遣（Zoom）
 - 8/1（木） 令和 6 年度第 1 回さいたま市発達障害者支援連絡協議会（会場開催）
 - 8/29（木） 令和 6 年度第 1 回さいたま市発達障害者支援地域協議会（Zoom）
 - 10/4（金） 令和 6 年度第 2 回さいたま市発達障害者支援連絡協議会（会場開催）
- その他
 - 9/20（金） 放課後等デイサービス「ステラキッズ」と話し合い（Zoom）

<全国 LD 親の会の行事>

- 6/15（土） 全国 LD 親の会総会&研修会（ハイブリッド開催）「麦」は Zoom 参加
- 6/16（日） 第 23 回公開フォーラム（ハイブリッド開催）「麦」は Zoom 参加
- 7/7（日） 関東・東北ブロック会議（Zoom）
- 7/14（日） 音声教材研修会（Zoom）
- 7/28（日） 行政勉強会「報酬改定による放課後等デイサービスの変化」（Zoom）
- 8/24（土） 各地域役員交流会（Zoom）
- 9/17（火） 行政勉強会「不登校について」（録画配信 9/29）（Zoom）
- 9/22（日） 「音声教材 BEAM と BEAM 音声を活用したテストの合理的配慮」学習会（Zoom）

埼玉親の会「麦」主催

発達障害の子を持つ保護者おしゃべり会

みなさんの胸に抱えている悩みを話してみませんか？
同じような境遇の仲間には、安心して話すことができ、ストレスが緩和します。保護者以外のご家族の方も参加できます。



麦会員限定（賛助・法人会員含む）の小グループによるおしゃべり会ですが、
**入会検討中の会員以外の方も
お試し参加として受付けています。**
参加ご希望の方は、ご連絡ください。
皆様の参加をお待ちしております。

参加費
無料

定員 15名
先着順
定員になり次第締切
申込締切
11月10日（日）

日時 11月17日（日）10:30～12:00（受付10:15～）
会場 さいたま市生涯学習総合センター 7F 講座室2



さいたま市大宮区桜木町 1-10-18 シーノ大宮センタープラザ
JR大宮駅西口徒歩5分 有料駐車場あり TEL048-643-5651

申込先 埼玉親の会「麦」WEBフォーム

<https://forms.gle/njbe77XoyukneQm8A>

11/10（日）までに、上記の二次元バーコードまたはURLからお申し込みください。
WEBフォームから申し込みできない方は、
メール mugi.saitama89@gmail.com
電話 080-4125-6020
こちらにお問い合わせをお願いします。
3日以内に受付完了メールが届かない時は、迷惑メールを確認いただき、それでも届いていない時は080-4125-6020へ電話をお願いします。
参加者の個人情報、行事の運営と緊急連絡などの目的以外に使用いたしません。
☆保育は行っておりません。ご了承ください。

埼玉親の会「麦」とは
LD、ADHD、ASD等の知的に大きな遅れのない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。

1989年発足。
<https://ld-mugi.sakura.ne.jp>



埼玉親の会「麦」主催 ランチ忘年会 & 入会相談会のご案内

12月には、**会員限定でランチ忘年会**を開催します。昼食を取りながら、仲間同士で楽しくおしゃべりしましょう。

入会希望者には、入会相談会を実施します。(発達障害個別相談会ではありません) どちらも参加希望者は、下記の申込み先にご連絡ください。

麦会員限定 ランチ忘年会

日時 12/14 (土) 12:00~14:00
場所 さいたま市市民活動サポートセンター
ミーティングスペース

さいたま市浦和区東高砂町 11-1 コムナーレ 9F
(浦和パルコ内) JR 浦和駅東口徒歩 1分
TEL048-813-6400 有料駐車場あり

参加費無料 定員 15名 定員になり次第締め切り

「麦」正会員/賛助/法人会員

昼食持参 申込者に別途詳細連絡します

申込先

12/7 (土) まで
入会相談・忘年会 共通



埼玉親の会「麦」 WEB フォーム
<https://forms.gle/TtPRqyB7pak21QDQ8>

「麦」入会相談会 (入会希望者)

日時 12/14 (土) 11:00~12:00
場所 さいたま市市民活動サポートセンター
ミーティングスペース

さいたま市浦和区東高砂町 11-1 コムナーレ 9F
(浦和パルコ内) JR 浦和駅東口徒歩 1分

TEL048-813-6400 有料駐車場あり

参加費無料 定員 10名 定員になり次第締め切り

入会希望者限定 申込者に別途詳細連絡します

埼玉親の会「麦」とは・・・

LD (学習障害)、ADHD (注意欠陥多動性障害)、ASD (自閉スペクトラム症) の知的に遅れない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。

1989年発足。

問合せ先

埼玉親の会「麦」

<https://ld-mugi.sakura.ne.jp/>
mugi.saitama89@gmail.com

TEL 080-4125-6020



ランチ忘年会・入会相談会どちらも12/7 (土) までに、二次元バーコードまたはURLからお申し込みください。 WEBフォームから申し込みできない方は、

メール mugi.saitama89@gmail.com 電話 080-4125-6020

こちらにお問い合わせをお願いします。3日以内に受付完了メールが届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は080-4125-6020 (確認用)へ電話をお願いします。参加者の個人情報、行事の運営と緊急連絡などの目的以外に使用せず、必要がなくなり次第速やかに処分いたします。

☆保育は行っておりません。お子様連れの場合、保護者にお任せしますのでご了承ください。

埼玉親の会「麦」主催 2025年1月例会

第2回 発達障害の事例勉強会

お金の管理が苦手な人

第2回事例勉強会のテーマは「お金の管理が苦手な人」です。
発達障害のある人の中には、お金を使い過ぎたり極端な使い方をする人がいます。参加者みなさんで、自分の立場からどのようなサポートができるか、考えてみましょう。

定員 15名 先着順 定員になり次第締め切り

日時 1月24日(金) 10:30~12:30 (受付 10:15~)

会場 さいたま市生涯学習総合センター 7F 講座室 1

さいたま市大宮区桜木町 1-10-18 シーノ大宮センタープラザ
JR 大宮駅西口徒歩 5 分 有料駐車場あり TEL048-643-5651

参加費 麦会員(正会員・賛助・法人) 無料
非会員(ご家族・関係者等) 資料代 500 円

申込先 埼玉親の会「麦」 WEB フォーム

<https://forms.gle/6FPrSFJULg1mceZB9>



1/17(金)までに、二次元バーコードまたはURL からお申し込みください。

WEB フォームから申し込みできない方は、
メール mugi.saitama89@gmail.com
電話 080-4125-6020

こちらにお問い合わせをお願いします。

3 日以内に受付完了メールが届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は 080-4125-6020 へ電話をお願いします。

参加者の個人情報は、行事の運営と緊急連絡などの目的以外に使用いたしません。

☆保育は行っておりません。お子様連れの場合、保護者にお任せしますのでご了承ください。

埼玉親の会「麦」とは・・・

LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、ASD(自閉スペクトラム症)の知的に遅れのない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。

1989 年発足。

埼玉親の会「麦」

<https://ld-mugi.sakura.ne.jp/>



麦 INFORMATION 10月号

掲載希望の情報をお持ちの方は、なるべくメールで mugi.saitama89@gmail.com または、機関紙担当理事まで。

❁ 11月 保護者&家族おしゃべり会 麦会員限定（賛助・法人会員含む） 入会希望者のお試し参加可

日時：11月17日（日）10：30～12：00（受付10：15～）

場所：さいたま市生涯学習総合センター7F 講座室2

定員：15名 麦会員（正会員・賛助会員・法人会員）無料 入会希望者のお試し参加初回無料

❁ 12月 ランチ忘年会 麦会員限定（賛助・法人会員含む）

日時：12月14日（土）12：00～14：00

場所：さいたま市市民活動サポートセンター ミーティングスペース

定員：15名 無料（昼食持参）

「麦」入会相談会（入会希望者）

日時：12月14日（土）11：00～12：00

場所：さいたま市市民活動サポートセンター ミーティングスペース

定員：10名 無料



❁ 1月例会 発達障害の事例勉強会「お金の管理が苦手な人」 非会員参加可

日時：1月24日（金）10：30～12：30（受付10：15～）

場所：さいたま市生涯学習総合センター7F 講座室1

定員：15名 麦会員（正会員・賛助会員・法人会員）無料 非会員：資料代500円

※詳細はチラシ（12～15ページ）または麦ホームページにてご確認ください。

※11月12月1月の申し込み いずれもチラシ掲載のWEBフォームからお願いします。

WEBフォームから申し込みできない時は<mugi.saitama89@gmail.com>へご連絡ください。



❁ 理事会（Zoom）のお知らせ

11月11日（月）、12月12日（木）1月17日（金） いずれも9：15～（遅刻早退可能）

理事会は、理事だけでなく正会員なら誰でも参加できます。理事会に参加したい会員、麦へのご意見等は麦事務局までご連絡ください。 mugi.saitama89@gmail.com

*今後の予定は決まり次第、麦ホームページまたは会員連絡網でお知らせいたします。

～編集後記～

朝晩と冷え込む日が多くなり、秋が深まってきました。皆様も秋のお祭り、運動会、文化祭などいろいろなイベントで忙しい日々をお過ごしと思います。私個人では地元の大きなお祭りが終わると秋になったなあと感じます。

皆さんも麦の活動にご協力をお願いいたします。（A・Y）

やっと暑さが和らぎ、お出かけしやすい季節となりました。秋はイベントごとも多く何かと忙しい日々かと思いますが、ぜひ麦のイベントにもご参加ください。（M・N）

機関紙に原稿を お寄せいただいた皆さまへ

この度は機関紙 10月原稿をお寄せいただき、ありがとうございました。
これからも麦の活動にご協力をお願いいたします。

<機関紙担当一同>

